



幼児教育センターだより

「大きな変化の中で
頑張る皆さんを応援しています」

学校教育部次長兼学校教育課長 栗林 俊明



私は、幼稚園入園当初、「家に帰りたい」とよく泣いていました。登園の時は、母が手を引いて出発し、同じ歳で年少から通園していた子に途中から一緒に登園してもらっていました。何を話したかは覚えていませんが、登園をしる私の心を勇気づけたり、園での生活の楽しみを感じたりする話をしてくれながら一緒に歩いてくれたのだらうと思っています。

担任をしていただいた新任の先生は、園の生活になかなか慣れない私との関わり方について先輩に相談したり、他のクラスの先生に助けてもらったりして、苦労しながらも愛情をもって丁寧に対応していただいたと大人になってから聞いています。

母と当時の思い出話をした時、わが子の子育てに悩む母へ、先生は親身に寄り添ってくださり、「お母さん、子どもさんは大丈夫ですよ」と、母親としての成長を支えてくださったことへの感謝の思いも話をしてくれました。

私の「泣き虫」がいつ収まったかは不明ですが、自分の経験を通して、幼児期の成長には、先生や保護者をはじめたくさんの方の深い愛情や支え、友だちとの出会いとふれ合い、そして園での楽しい活動などが重要であることを強く感じています。

私も親として三人の子どもを育て、三人目の子どもが昨年、社会人となり直接的な子育てではひと段落しました。振り返ってみると自分も親と同じ悩みを抱えながら、子育ての先輩や担任の先生方からの励ましや支えがあって、親としての役割を果たすことができたと感じています。

文部科学省は、幼児期の重要性について、「幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期である。幼児は、生活や遊びといった直接的・具体的な体験を通して、情緒的・知的な発達、あるいは社会性を涵養し、人間として、社会の一員として、より良く生きるための基礎を獲得していく。この時期に経験しておかなければならないことを十分に行わせることは、将来、人間として充実した生活を送る上で不可欠である。」と示しています。

また、「子育てとは、子どもに限りない愛情を注ぎ、その存在に感謝し、日々成長する子どもの姿に感動して、親も親として成長していくという大きな喜びや生きがいをもたらすものである。」と子育てを通した親の姿を示しています。

新型コロナウィルス感染症の国内1例目が確認されて4年目を迎えました。この間、私たちの社会生活様式、学校生活様式が大きく変わっていき、毎日が新しい発見や挑戦の連続である幼児期の子どもたちの活動が制限される日々が続いています。

保護者にとっても、子どもと多くのことを体験し、我が子の「できた」を一緒に喜びながら親として成長する機会を十分にとることが難しい状況にジレンマを感じる人が多いことと思います。また、幼稚園、保育所等の先生方が、コロナ禍における安全安心と諸活動の充実のバランスをとりながら、日々奮闘されている姿を想像します。

厳しい状況の中、今を懸命に生きる子どもたち、わが子の健やかな成長を願って深い愛情を注いでおられる保護者と先生方に「大丈夫、大丈夫！」と声をかけ続けたいと思います。

そして、これからも地域の一員として、微力ではあっても、これからの社会を担う子どもたちと、子どもたちが生き生きと輝くために頑張っておられる保護者や先生方の応援団であり続けたいと思います。

離乳食講座

参加者（乳児の保護者・妊婦・乳幼児食育アドバイザー・一般市民）

離乳食講座～お母さんと赤ちゃんのこころにこころ教室～ 5月～3月
(13回 うちオンライン開催3回)

講師：長崎国際大学 教授 古賀貴子 氏
離乳食に関する講話と調理の実演、実習、試食を行いました。



乳幼児食育アドバイザーフォローアップ講座 9月9日(金)

講師：長崎国際大学 教授 古賀貴子 氏
離乳食の正しい知識と、支援に関する留意点などについて学びました。

乳幼児食育アドバイザー養成講座 9月～10月(全5回)

講師：①長崎国際大学 教授 古賀貴子 氏
②健康づくり課 歯科衛生士
③臨床心理士 津上佳奈美 氏
④健康づくり課 管理栄養士
⑤長崎国際大学 教授 古賀貴子 氏



きらきら広場

子育て支援の場「きらきら広場」は、スタッフやボランティアが温かく見守る中で、親子にとって交流の場、癒しの場となっています。コロナ禍で感染拡大防止対策を講じて開館しています。月に1回、広場で実施した親子活動は、規模を縮小しての開催となりましたが、参加者は交流を深めることができました。

親子活動内容

5月	親子わくわくタイム
6月	歯科育児健康教室
7月	子育てトーク「ほっとタイム」
8月	夏の遊び
9月	緊急時の対応
10月	親子ふれあい遊び
11月	子育てトーク「ほっとタイム」
12月	ミニコンサート
1月	子育てトーク「ほっとタイム」
2月	ピラティス
3月	子育てトーク「ほっとタイム」



調理講習会

参加者（就学前幼児の保護者）

親子クッキング(オンライン開催) 8月17日(水)
～さら・サク サブレ・オレンジゼリー～

講師：長崎短期大学 講師 谷口英司 氏
親子で一緒に楽しむクッキングの実演や、講話を行いました。

幼児向けの食事作り 幼児食 10月18日(火)

～里芋ごはん・麻婆豆腐・根菜の具だくさん汁～
講師：長崎国際大学 教授 古賀貴子 氏
旬の食材を使ったメニューの実習と試食、講話を行いました。

幼児向けの食事作り 行事食 12月15日(木)

～サーモンパイ・ポップなスープ・スティック野菜～
講師：管理栄養士 野々村洋子 氏
クリスマスにちなんだ、メニューの実習と試食、講話を行いました。



おひさま教室(子育て支援親子遊び)

参加者(乳幼児とその保護者)

7月6日、9月12日、11月2日、1月18日

講師：臨床心理士・公認心理師 伊藤碧津子 氏
親子ふれあい遊びを楽しんだ後、座談会で臨床心理士の先生から、子育てについての話や子どもの発達に合ったアドバイスと共に、母親同士共感し合うことで、育児不安等の軽減へとつなげています。

教育相談

保育者・子育て中の保護者を対象に、幼児教育全般や育児に関する相談を受けています。(当センター職員、長崎県立佐世保特別支援学校地域支援担当職員)お気軽にご相談ください。電話での相談もお受けいたします。

子育てサークルネットワーク

佐世保市内で活動しているおおよそ30の育児サークル・子育て支援グループの事務局として、支援を行っています。

情報発信

●保幼小連携継続カリキュラム●保幼小連携「継続カリキュラムガイドライン」●保幼小連携の取組み(関係者向け)●キラッとさせほっす～もうすぐ1ねんせい～保幼小連携の取組み(家庭版)●要録様式(佐世保版)改訂版●きらきらだより●乳幼児施設ガイド●幼児教育センターパンフレット●ホームページ●フェイスブック●させほっすナビ(母子手帳アプリ)●育児サークル&子育て支援グループ一覧●研修のまとめ●幼児教育センターだより(絵本、教職員・保護者向け書籍、エプロンシアター等)●佐世保市保幼小連携アンケート調査に関する報告書●赤ちゃんふれあい(いのちを育む事業)報告書



幼児の輝きを引き出す

佐世保市幼児教育センター

〒857-0822 佐世保市山祇町 387 番地

TEL:0956-31-0550 FAX:31-0578

ホームページは
こちらから



令和4年度 幼児教育センター事業報告

職員研修講座

参加者（乳幼児教育・保育施設職員等）

幼児教育研修会Ⅰ【基礎】（オンライン開催） 9月5日（月）

「魅力ある保育者になるための7ヶ条」
講師：白梅学園大学 教授 師岡章氏

経験年数5年未満の職員を対象とした保育の基礎を学ぶ講座です。「子どもが好き」を忘れず、「子どもと一緒に保育をつくる」ための関わりについて学びました。

幼児教育研修会Ⅱ【中堅】（オンライン開催） 9月6日（火）

「専門リーダーへの道」

講師：白梅学園大学 教授 師岡章氏

経験5年以上の職員を対象とした保育リーダーとしての姿勢を学ぶ講座です。「チームとしての園」推進の担い手及び「専門リーダー」として期待されることについて学びました。

幼児教育研修会Ⅲ【中堅：フォローアップ】 7月25日（月）

「保育リーダーとしてステップアップしよう!!（あひまのり）」

講師：広島大学大学院 教授 中坪史典氏

経験5年以上の中堅職員を対象として昨年度実施した講座のフォローアップ研修です。保育リーダーとしてのやりがいを得るまでのプロセスや感情労働などについて、グループワークを通して学びました。

幼児教育研修会Ⅳ【主任・主幹教諭】（オンライン開催） 9月5日（月）

「「つなぎ」「支える」主任・主幹教諭の役割」

講師：白梅学園大学 教授 師岡章氏

主任・主幹教諭を対象とした講座です。中間管理職としての立ち位置や「つなぎ」と「支え」のポイント、求められる資質・能力について学びました。

幼児教育研修会Ⅴ【園長・副園長】（オンライン開催） 9月6日（火）

「真のトップリーダーになるために」

講師：白梅学園大学 教授 師岡章氏

園長・副園長を対象とした講座です。園のトップリーダーが担うべき役割、保育の質的向上につなげる職場づくりのポイント、園のトップリーダーに求められる資質・能力について理解を深めました。

職員研修講演会 12月9日（金）

「子どもから始まる保育の物語

～環境と援助の在り方を考える～」

講師：お茶の水女子大学 教授 宮里暁美氏

0歳児から5歳児までの育ちや主体性の芽、育成すべき資質能力・3つの柱について、事例を交えて心温まるお話をいただきました。



保幼小連携講座

参加者（小学校教諭・乳幼児教育・保育施設職員等）

担当学会

第1回保幼小連携担当学会 3月～6月

市内47各校に担当者が集まり、年間交流計画や情報交換等、保幼小連携について協議がなされました。

第2回保幼小連携担当学会 1月～2月

各ブロックごとに開催し、各校（園）で作成した接続カリキュラムをツールとして接続期に育みたい子どもの姿について、協議を行いました。

公開授業・保育（オンライン開催）

「小学校教育について学ぼう」 7月5日 大久保小学校

「保育所の保育について学ぼう」 8月23日 進徳保育園

「幼稚園教育について学ぼう」 11月16日 九州文化学園幼稚園
担当校（園）で録画された子どもの姿を視聴し、グループ協議を通して、「3つの柱」と「10の姿」について共有し、育ちと学びの連続性について考え合いました。

保幼小連携講演会 8月26日（金）

「子どもたちの学びをつなぐ保幼小連携
～主体的な学びを支える～」

講師：兵庫教育大学 准教授 鈴木正敏氏

幼児期からの学びの基盤づくりや子ども達に必要な力について、また、接続カリキュラムを用いて、教育、保育について伝え合うことの重要性を学びました。

施設長会（ブロック別）7月11日～8月1日（5回）

小学校と乳幼児教育・保育施設の長が、グループ別に各施設の保幼小連携の取組みについて協議を行い、理解を深めました。

要録に関する研修会 12月7日（水）

「要録を活かすということ」

講師：長崎県子ども未来課 幼児教育・保育支援班 指導主事 伊山ゆずる氏

要録を書く目的や伝える目的、「書き方」と「使い方」について演習を交え、切れ目のない支援と子どもの健やかな成長のために、要録を活かすということについて学びました。

実技講座

参加者（乳幼児教育・保育施設職員等）

実技研修会 8月8日（月）

「みんなでわくわくブンパ・ポーン！」

講師：たにぞう（谷口國博氏）

日頃の保育に活かせる歌や手遊び、ダンス、絵本の読み語り等、実際に体験しながら学びました。参加者同士、一緒に体を動かしながら交流も楽しみました。

調理担当者実技研修会

8月30日（火）、9月7日（水）、28日（水）

「離乳食、アレルギー対応、災害時の対応について」

講師：健康づくり課 管理栄養士

事前アンケートに基づいて、調理担当者としての基礎知識を学びました。グループワークでは、各施設の情報交換を行いました。

赤ちゃんふれあい（いのちを育む）事業

参加者（一般市民・小学生）

6月10日（金）【木風小学校6年生】

6月17日（金）・24日（金）【白南風小学校5年生】

乳児とその保護者、小学校5～6年生との交流会を行いました。保護者は子育ての振り返りや、わが子の成長をイメージし、小学生は親の思いを知り、いのちの大切さを感じる等、有意義な時間となりました。



赤ちゃんふれあい（いのちを育む）事業

「おおきくなったね」

参加者（一般市民・小学生）

11月22日（火）・25日（金）【白南風小学校5年生】

11月28日（月）【木風小学校6年生】

再会の会である「おおきくなったね」では、お互いの成長を感じることができ、交流が深まりました。

特別支援教育講座

参加者（乳幼児教育・保育施設職員等）

特別支援教育研修会Ⅰ-①・②・③

①5月18日（水）

「子どもの特性理解と発達に合わせたかかわり」

②6月8日（水）

「保育における個・集団の適応と環境構成」

③7月6日（水）

「子どもの育ちと保護者支援」

講師：長崎短期大学 講師 藤野正和氏

発達に合わせた保育者のかかわりや、障がいのある子ども達に対する環境構成の工夫、保護者支援・かかわり方について学びました。支援の量の見極めや、日々自らが行う保育の振り返りにもなる研修となりました。



特別支援教育研修会Ⅱ 10月14日（金）

「共生社会の担い手を育むを保育の合言葉に

～支援の必要な子どもの視点で保育を見直しながら～」

講師：独立行政法人国立特別支援教育研究所

インクルーシブ教育システム推進センター

上席総括研究員・センター長 久保山茂樹氏

子どもの姿を肯定的にとらえるための考え方や子どもへのまなざしについて、そして共生社会の担い手を育むための保育者の役割について学び、保育を見直す良い機会となりました。

父親向け育児講座

参加者（一般市民・乳幼児教育・保育施設職員等）

食育講座 10月16日（日）

『「パパッと！ランチ」いただきます！』

～クレープのひき肉包み、バターオニオンスープ～

講師：長崎短期大学 講師 谷口英司氏



父親目線から「食育」について理解を深め、調理実習を通して食への関心をもってもらう機会となりました。最後はご家族で試食をしていただきました。

育児講座 11月3日（木・祝）

「パパフェス！～おとうさんと遊ぼう！！～」

講師：大阪教育大学 教授

大阪教育大学附属天王寺小学校 校長 小崎恭弘氏

子どもと遊ぶ際のポイントや、乳幼児の発達について話をさせていただきました。父親ならではのふれあい遊び、絵本の読み語り等を親子で一緒に体験しながらの講座でした。



親子ふれあい遊び 2月12日（日）

「親子にここにこ運動会

～かけっこ、玉入れ、大玉送り！～」

講師：運動遊び・体づくり（体操）運動指導者 澤井雅志氏

親子で体を動かしながらふれあうことで、笑顔と元気があふれる楽しい時間を過ごしました。

子育て講座

参加者（一般市民・乳幼児教育・保育施設職員等）

子育て講演会 9月11日（日）

「今が大事！早寝早起き朝ごはん」

講師：諫早市立長田中学校 校長 梅木澤泰江氏

乳幼児期から思春期までの子どもの育ちや、子育てを取り巻く環境等を踏まえながら、「早寝早起き朝ごはん」の大切さについて、様々な視点から学ぶことができました。

<オンライン開催の様子>

感染症や天候の影響等がある場合でも、効果的に研修を行うために、状況に応じてオンラインで講座を開催いたしました。「テレビ・Web会議ツール（Zoom・Webex）」を通じて、参加者や講師、幼児教育センターとつながり、成果を上げることができました。

